



2024年4月5日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 H O I S T
代 表 者 名 代表取締役社長 CSO 柿沼 千早
問 合 せ 先 管理本部長 CFO 阿部 公志
(電話番号 072-707-2760(代))

American Association for Cancer Research において 開発中の HM-001 について発表をおこないました

4月5日から米国サンディエゴで開催された American Association for Cancer Research (AACR) の AACR ANNUAL MEETING 2024¹において、MA-T®²を活用した筋層非浸潤性膀胱癌 (NMIBC) 治療薬、亜塩素酸ナトリウム薬剤 (HM-001) の開発状況について当社役職員が進捗報告をおこないました。

今回、低グレード膀胱がん患者より調製した PDX (Patient-Derived Xenografts : 患者由来異種移植片)を用いた薬効評価結果を追加し、HM-001 が NMIBC の約 70%を占める低・中リスク患者に対して抗腫瘍効果が期待できる結果を発表しました。

また、低グレード膀胱がん PDX を用いた評価系は、世界的にみても当社のみで可能な評価系であると考えております。

当社創薬基盤技術³を今後も活用し、NMIBC を対象とした第 I 相臨床試験が実施されている HM-001 をはじめとした各パイプラインの研究開発を一層推し進めてまいります。

以 上

¹ 詳細については下記ページをご覧ください。

<https://www.aacr.org/meeting/aacr-annual-meeting-2024/>

² MA-T®は Matching Transformation System®の略で、革新的な酸化制御技術です。亜塩素酸イオンから必要な時に、必要な量の活性種 (水性ラジカル) を生成させることで、流行性ウイルスをはじめとするウイルスの不活化、種々の菌 (細菌) の除菌を可能にします。さらに活性度を巧みに制御することで、高難度の化学反応を開拓すると共に、高分子の高機能化やデバイスへの応用、農業・医薬品への応用など幅広い応用化の基礎となる基盤科学を推進しています。(日本 MA-T 工業会 HP より引用 : <https://matjapan.jp/mat/>)

³ 当社の創薬基盤技術 PDC/PDX の詳細については下記ページをご覧ください。

<https://hoist-jp.com/home/technical-info/#pdx>